

# なごみだより

社会福祉法人なごみ福祉会

NO 9

URL (改訂中)

## なごみ便り 巻頭言

## 相次ぐ「孤立死」に想う

- ◆ 今年になって、「孤立死」が相次いでいます。介護者が病で倒れ、要介護者が後を追って亡くなる・・・「介護者、親亡き後の悲劇」です。
- ◆ 先日、生活ホーム利用者のHさんが、高齢のため“老人ホーム”に転居されました。Hさんのお母さんから私に「この子を連れて死にたい」と、必死の相談がありました。Hさんは、多摩川あゆ工房で働き、お母さんが亡くなってからは、生活ホームに入居。なごみで受け止めてもらえなかったら、生活ホームが無かったら・・・と、障がい者の暮らしをしつかり地域で支える「なごみ福祉会」の役割の大切さを改めて考えさせられます。
- ◆ なごみ福祉会は、障がい児保育が出発です。子どもたちの成長、親のねがいに応えるために、様々な施設、活動を広げてきました。障がい者施設は、作業所、生活ホーム、児童デイサービス・・・。障がい児、健常児の統合保育の「認可保育園」も3園になりました。
- ◆ 子どもの保育、障がい者の施設、事業を幅広く運営する「なごみ」は、法人内の連携で、それぞれの機能を相互に活かし、良い結果を生み出しています。

療育相談でんでん虫のスタッフが、法人内の保育園、障がい者施設で、音楽療法、療育相談活動を定期的に行い、福祉作業所から、保育園のおやつに、焼き菓子工房のクッキー、パウンドケーキ。園児が使う机、椅子、遊具は、作業所の木工作业班。園庭を飾るお花は園芸作業班、施設の掃除は、清掃作業班が行います。保育園で育った親子が、障害施設での“はたらき手”として活躍するケースもあります。

先日、保育園と障害者施設の合築事業に応募している世田谷区が、審査のための視察に来られました。審査の中で「多彩な事業を繰り広げていますね。順調に運営できる理由は何ですか？」と聞かれ、職員の献身的な努力と、法人内の諸施設間の連携プレーの例をあげて説明し、理解していただきました。今後、この面をいっそう拡充していきたいと考えます。職員の方々の努力と創意的取り組みを期待しています。(理事長代行 市村ごろう)

**本部人事** \_\_\_\_\_  
2012年5月26日理事会  
で、副理事長・市村護郎  
を、理事長代行に決めま  
した。



近所の畑で、おいしい野菜ができました。

## お礼 法人本部から

2011年度、花笑みの会から法人本部へ100万円の寄付をいただきました。夢花工房ほばいの「メディカルルーム」(利用者が疲れたり、具合が悪い時に休む部屋)設置費と、療育相談でんでん虫活動費補助に使わせていただきました。ありがとうございました。



## 地域療育部 療育相談でんでん虫

～法人内の連携～

### ☆子育て支援センターページブルとの連携～早期対応と家族支援～



地域で子育てをしている方々にとって身近な子育て支援センターは、子育てに何らかの問題を抱えている人にとっても、あまり抵抗がなく利用できる相談機関になっています。

でんでん虫では、ページブルのスタッフが自由来所の中で汲み上げた母親の子育てへの不安や、発達に何らかのつまずきのある子への具体的な早期の対応策として、1歳6か月から3歳までの親子を対象にした『子

育てセミナー』、個別相談、また様々な療育プログラムの提供を行っています。

### ☆保育園との連携～音楽活動の充実と職員研修～

なごみ保育園、さぎ沼なごみ保育園、太子堂なごみ保育園では、毎週保育士さんとでんでん虫スタッフが協力して行う「音楽リズム」という時間があります。リズムに乗って思い切り身体を動かし、ダンスを踊り、合奏をして、うたを歌って・・・と子どももおとなも全身で楽しさを表現しています。行事の時には、楽しい保育士バンド『なごみカンタービレ♪』が、大活躍です。

なごみカンタービレで～  
す♪



### ☆多摩川あゆ工房・夢花工房との連携～日中活動の充実と生きがい～

あゆ工房・夢花工房では、集団や個別での音楽プログラムを提供しています。毎週たくさんの仲間たちと歌い、踊り、太鼓をたたく、本当に笑顔とエネルギーのあふれるような時間を過ごしています。また、一人の方とじっくり向かい合い、音楽を通してそれぞれの思いを受け止め気持ちを共有する。そんな密度の濃い時間も大切にしています。穏やかな笑顔は、何よりのご褒美です。



### ☆児童発達支援事業ドリームとの連携～一人ひとりの成長と相談支援～

毎週火曜日と水曜日の午前中に、《ドリームリズム》をやっています。幼児を対象に、ほぼマンツーマンのスタッフが、一人ひとりの発達を見取りながら、身体を使ってたっぷり遊んでいます。子どもたちがお尻をふりふり踊る姿に、思わずスタッフも笑顔になります。タンバリンやラッパが大好き！パネルシアターで繰り広げられるお話しや歌に、みんな釘づけ！あっという間の一時間です。

(地域療育部 療育相談でんでん虫 渡邊紀子)

## (保育事業部) 地域との連携で、子どもたちを守り育てる

先日、太子堂なごみ保育園が加入している町内会の防災訓練に、職員4名で参加しました。この太子堂地区は古い木造アパートなどが密集しており、道幅は4メートルもなく、車が通るのもやっとの地域です。昔の農道がそのまま現在の生活道になっているのです。狭い道は、子ども達との迷路遊びのような散歩ができてそれは楽しい道なのです。

しかし、一旦地震火事等の災害が起きた時には避難空地も無く小さな子供たちを連れて逃げ出す事は困難を極めると予想されます。もちろん太子堂なごみ保育園をたち上げる時からそのことは知っておりましたので、建設コンセプトを『防災拠点に成り得る保育園を造る』として工夫を重ねてきました。園舎は地震火事災害に強い鉄筋コンクリート造とし、隣地からは4メートル離しました。窓にはペアガラスを採用し、蛍光灯などの落下防止にも配慮した設計になっています。また、地下に4トンの防火用水を備蓄し、子どもたちの水と食料も用意しています。

さて、町内会の防災訓練に参加した折、近隣の皆様から「この町内会の太子堂なごみ保育園の子ども達を守るために、町内会としてもできるだけの協力をしてゆきたい」という暖かいお言葉をいただきました。私たち職員も町内会の一員として地域に貢献できるよう、日々心掛けていきます。そのための最初の一步は毎日の挨拶です。散歩の時の子どもたちとご近所の皆様との「おはよう、こんにちは」の言葉のやりとりは、貴重な宝物だと思います。

太子堂なごみ保育園 園長 栗田怜子

### 【近隣の皆様と共に、保育園の近くでの畑づくり】



## ～多摩川あゆ工房～



(法人内連携の事例紹介)

### 「個別音楽」の中で膨らむ可能性

今回のなごみだよりの原稿テーマは「法人内の連携」。今回取り上げるのは、療育相談でんでん虫の音楽療法スタッフが協力してあゆ工房で週1回実施している、「個別音楽」です。原稿を書いたのは入職1ヶ月ちょつとの坪井君です。坪井君は担当してまだ間もないですが、担当している、Mさんの様子について書いてもらいました。

Mさんは、私が見てきた限り、普段から他の利用者さんと自分からコミュニケーションをはかるような行動や共に何かをとという行動はあまりないように見受けられます。普段、二階へ行く際の階段の上り下りでは私の手を取りますが、それ以外の行動ではあまり手を取るような事はありません。

しかし、「個別音楽」の日には作業室を出る時から私の手を取り、引っ張るように二階へ向かいます。私に関わるようになってからはあまり見せたことのない行動です。

ホールへ着いてからもピアノを弾いている小田嶋さん(※)の隣に自ら座り、曲の最後など小田嶋さんが弾かずに手を鍵盤の上で止めていると、小田嶋さんの手を上から押さえつけるように最後の音を要求します。



お決まりの曲などで普段手拍子する箇所を私や薩川さん(※)がしていないようなことがあった際には私達の方を向き自ら大きく手拍子をし、私達にも手拍子するよう催促します。普段なかなか見ることない積極的なMさんの行動や楽しそうな表情を見ることができます。

(※)療育相談でんでん虫スタッフです。

他方、他の利用者の皆さんと参加する「療育音楽」の際は、皆の輪に入らず隅で寝転がっている事が多く、たまに楽しそうに見受けられたタイミングに、楽器を持って行き、敲くように誘ったり、ダンスを一緒に踊ろうと手を取り招いても、途端に不穏な表情を見せ、私の身体を突き飛ばし、なかなか利用者の皆さんの輪に入れずにいます。三浦さんなりに楽しんではいいても、皆と共に、いう点への苦手意識で入り込めずにいたのだとすれば、Mさんにとってこの「個別音楽」とは大きな意味を持っているように思います。

この「個別音楽」を続ける事で、今まで決まった人の前でしか出せなかったMさん、自分自身すら知り得なかったMさんを引き出し、今後Mさんと関わる多くの方の前でも出せるようになる為の入口になるのではないかと感じます。まずは、音を楽しんでいる自分を受け入れ表現することから。次に共に…へ。



これは、Mさんだけにいえる事ではないと考えます。言葉などのコミュニケーションでは大きな変化を見せない利用者さんも療育音楽や久力さんの音楽の時間には普段の作業では見られない積極性、理解力、順応性を見せているように感じます。

まだ、限られた時間しか過ごしていない私には利用者さんの多くの側面を見られていないだけなのかもしれませんが、私達の言葉や行動では伝えきれない、導ききれない感情、表現、意欲などを引き出す力が音楽にはあるのではないかと私には感じられ、大きな可能性を感じました。

(多摩川あゆ工房職員 坪井 雄)



# 夢花事業部

夢花工房ほばい

24年度の  
初回は夢花工房をご紹介します!

## 夢花感謝祭

平成24年2月18日、夢花工房になって初めての大会イベント夢花感謝祭を開催しました。

夢花工房ほばいの食堂を利用して、元力士の作るちゃんこ、山小屋カレーと銘うった夢花オリジナルレシピカレー、コーヒー、ケーキを用意、終了時間前に完売することが続き、ご好評をいただきました。

バス通りに面した「アンサンブル」では、花笑バザー。「児童デイサービス・ドリーム」では、児童デイの紹介展示と東北支援のためのバザー。「鷲ヶ峰でんでん虫」では、療育相談でんでん虫をはじめ多摩川あゆ工房職員の演奏、夢花工房職員による演劇、ミニゲーム大会などを行い、大歓声のまま終わることができました。また来年、開催する際は様々な面でグレードアップして行いたいと思います。

今後共、なごみ福祉会夢花事業部をよろしく願います。ご協力ありがとうございました。

夢花祭り  
&  
花笑バザー



おおいそがしの食堂風景



アンサンブルの花笑バザー



児童デイの東北支援バザー



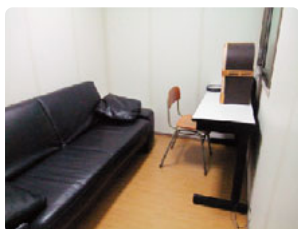
鷲ヶ峰でんでん虫内の作品展示

## 夢花工房オリーブ

今年4月から夢花工房長沢から夢花工房オリーブに名前が変わりました。それに先立ち、3月から内部の改装を行い、木工作业室、機械室、ロッカールーム、作業室と区切られました。今、外作業の人達の休憩の場所としても活用できるように模様替えをしています。



名称も新たに／オリーブ入口



ほばいメディカルルーム

## 夢花工房ほばいメディカルルーム設置

2階キッチン戸棚があった場所にプレハブ式のメディカルルーム(医務室)を設置しました。面談室または、第2作業室としても使えて重宝しています。工費については、花笑の会から助成をいただきました。



ほばい入所式／集合写真



ほばい入所式／あいさつ

## 夢花工房24年度入所式

4月2日月曜日に入所式をとり行いました。養護学校新規卒業生3名と、23年度途中にはいった方の紹介をおこない、先輩から歓迎の言葉を贈りました。利用者さんの数は41名になりました。また、施設長以下職員の紹介と、パーカッションで練習している「Believe」の歌を全員で合唱し、最後に外階段にいらんで、記念写真をとりました。





# 新しい年度を迎えて



社会福祉法人なごみ福祉会後援会  
花笑の会 会長 志岐チエ子



また、新しい年度を迎えました。あまりにも、辛く、悲しいことの多かった昨年。たとえ、辛くても、悲しくても、立ち止まってばかりいられないですね。大勢の人たちがいて、安心できる生活を求めているはずです。

会としては、昨年も、夏、冬のきょうされんの物品販売、あゆまつりにバザーで参加。そして、初めての夢花感謝祭にバザーでの参加と、取り組んできました。

「花笑の会」は、なごみ福祉会発足の理念（しょうがいがある人も、無い人も、誰もが地域で当たり前の暮らしをしよう）に共感し、なごみ福祉会を支援しようと、12年前、法人20周年の年に結成されました。今年は、会員を増やす。物品の販売活動にも、皆様方の、今まで以上のご協力をおねがいしようと考えています。

可能な限りの支援をしていただき、そして、ぜひ一緒に活動していただく方が、更に増えますようにと願っています。少しずつ呼びかけに答えてくださる方がいらっしゃって、心強いかぎりです。皆さん、ぜひ一緒に！！

## 「花笑の会」会員募集！

### ★ 後援会費(年会費)★

 個人：一口 2,000円  団体：一口 5,000円

### ★ 会費振込先 ★

〔銀行ご利用の場合〕 ▶ 川崎信用金庫/長沢支店 (普)0185019 花笑の会会長志岐チエ子  
〔郵便局ご利用の場合〕 ▶ 振替番号 00220-7-71044 加入者名 花笑の会



【連絡先】 ▶ 〒214-0036 川崎市多摩区南生田4-12-5 夢花工房ぱい方